



物波利子

六

大



18
1677
6

物とて書く六

徳田平九郎性異と云ふ



花隈乃城主若木持清と云ふ徳田信長の子

桶つゝゝゝゝ瀬川左近將監より人斬と云ふ人

賣さるゝが野村丹後守と初めゝ新買れと云ふ

二百六十人みゝゝゝゝ城より入るゝを焼くゝゝ

と徳田平九郎と云ふの只一人のりゝゝゝゝ

ゆゝ。略くせゝゝゝ海と云ふいゝゝゝに。初め

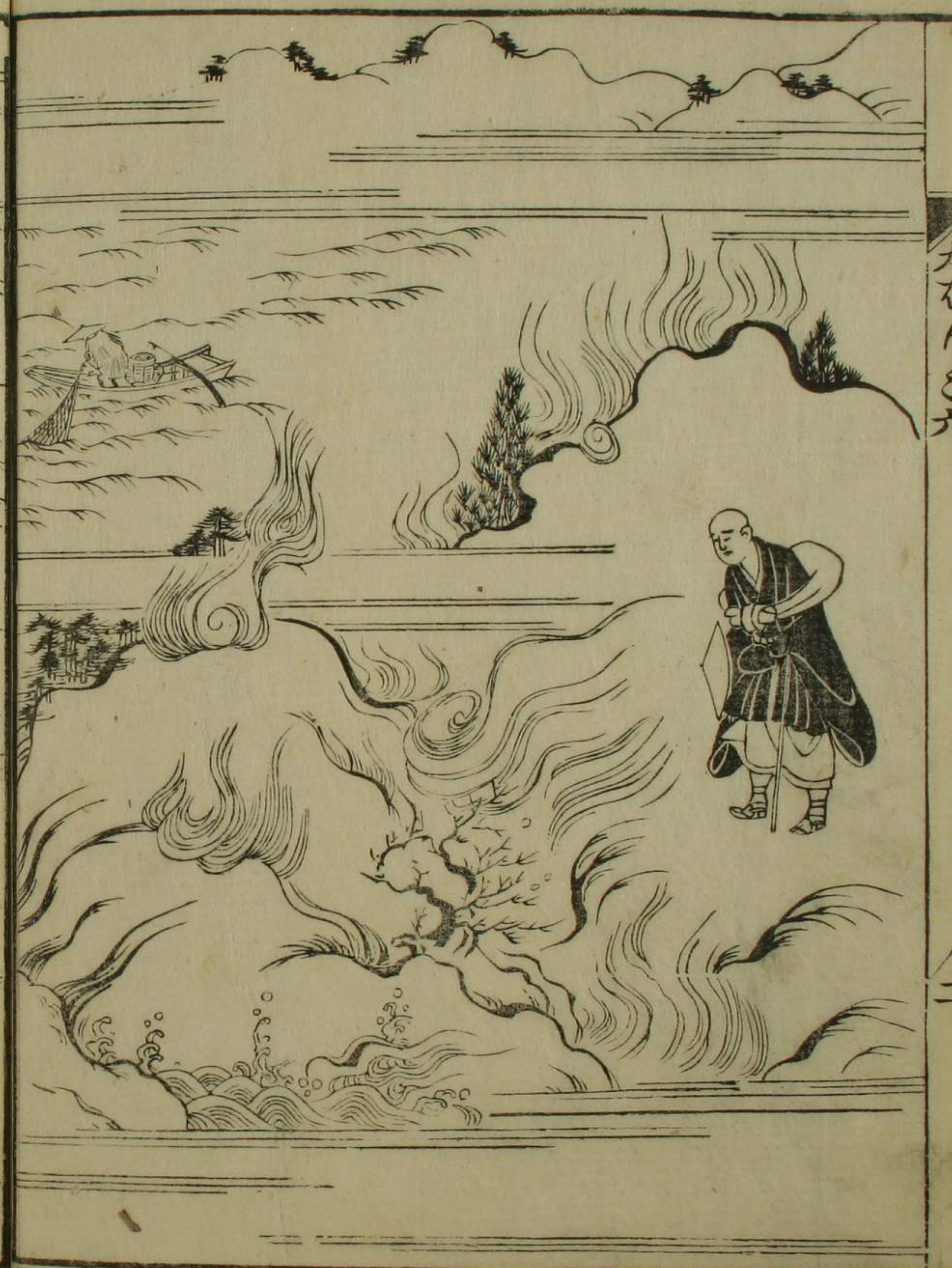
と云ふれゝゝゝゝ。完るゝゝゝゝ。と云ふゝゝゝ

りゝ。いゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ





大石の六

軍謀固く裏す事くゆりてさうやと云月
中其ありて面つて一昨日。廿一日辰巳午の三
時。敵軍の総大将あり。或を長くさし。其
れ日楊れ。陣。あふひつて。備とて。其も辰巳
午。軍と初め。心み。これ云。時中遠つ。其も上
長。藤乃。城。あり。を。中。陣。と。通。度。山。あり。れ。る。道
屋。目。さ。し。つ。る。忌。り。り。多。数。に。れ。の。り。い。ま
張。り。さ。れ。る。敗。れ。の。兆。あり。その。時。と。失。ち。れ。り
佐。長。方。わ。り。て。廣。く。成。り。し。り。て。切。田。堀。切。り。折
る。殺。不。と。あ。り。冊。と。さ。す。に。り。や。る。楊。れ。と。小。成
て。川。と。後。さ。る。ん。ご。り。り。流。る。敵。み。な。る。さ。あ。じ
り。候。頃。も。わ。さ。す。を。殺。り。り。て。軍。や。り。此。の。利。也

う。じ。や。り。そ。う。と。年。東。海。流。る。り。り。時。り。り。り
お。拓。道。習。成。と。法。軍。人。方。作。農。成。と。さ。方。の。内。地
不。利。り。り。長。後。湯。木。と。内。藤。修。理。と。中。や。り。り。り
結。成。り。お。老。方。と。あ。み。あ。り。内。が。人。小。は。ご。り。り。り
軍事の決定。日。あ。り。り。り。り。り。り。り。り。り。り。り
と。物。お。か。り。り。り。り。り。り。り。り。り。り。り。り。り。り
り。り。り。り。り。り。り。り。り。り。り。り。り。り。り。り。り。り
と。り。り。り。り。り。り。り。り。り。り。り。り。り。り。り。り。り
み。お。お。り。り。り。り。り。り。り。り。り。り。り。り。り。り
作。成。り。り。り。り。り。り。り。り。り。り。り。り。り。り。り。り。り
い。後。さ。り。り。り。り。り。り。り。り。り。り。り。り。り。り
を。れ。り。り。り。り。り。り。り。り。り。り。り。り。り。り。り。り。り



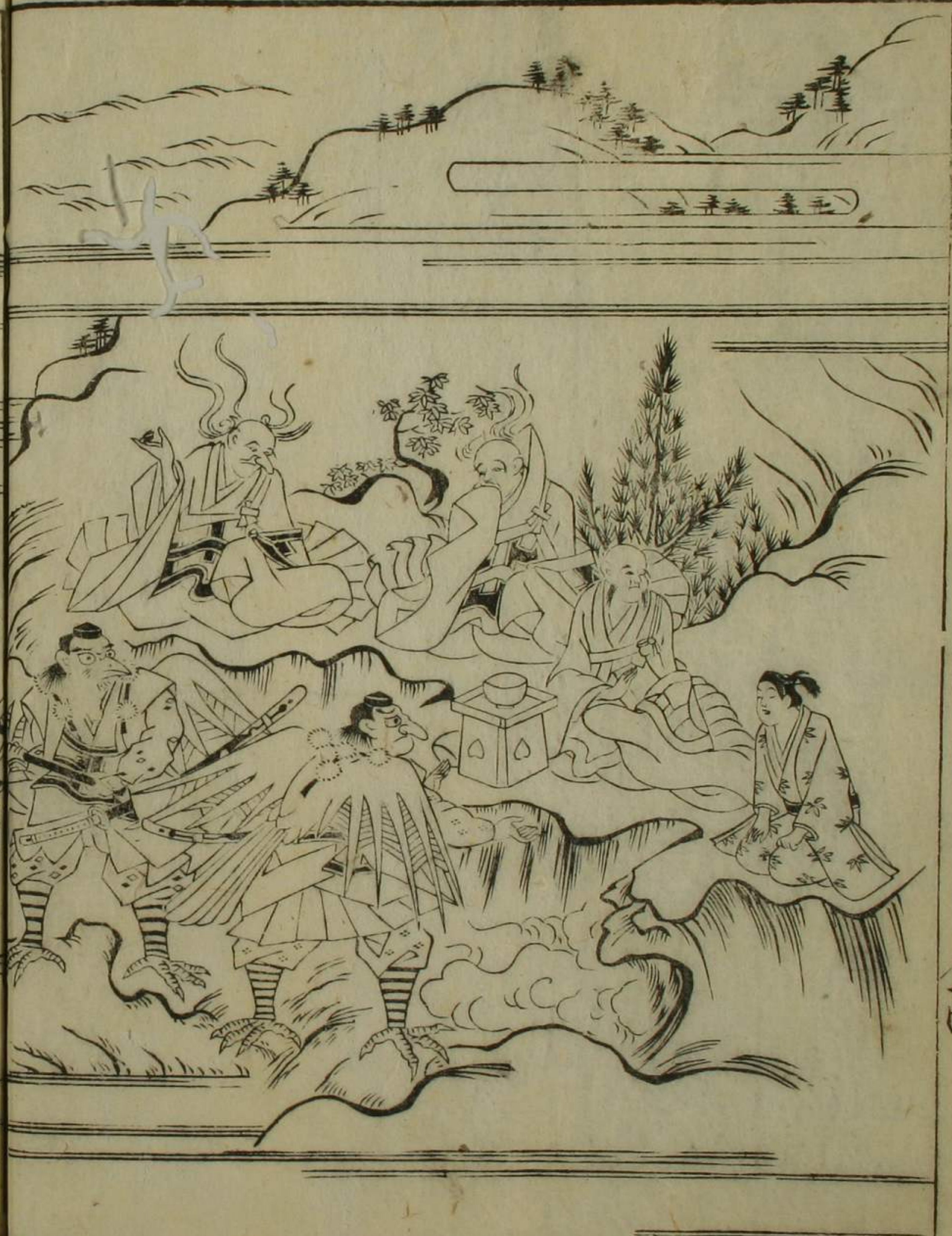
[illegible][illegible]

日何の故とばかりはさるるにふくづくとせしむ
そとにしるる信乃紅染の衣てふは紫の装束とを
もつて水精つそとの粒珠とをいふは決意と
我ゆへに人雇ひれ来るやうにいせとありき
わづらわれくづくと何となくいふは必やありて
系代東也といふ嶽とふつと尋ふは休みくは信乃
ありきとて雇ひてくるありとてふはありきとて
つと尋ふは食物のちありは信乃とてふは食
せり何となく物とていふは味いといふは海に
居りてはさるるに信乃の信乃といふは中とて
日とて海とて中とて海とてありきとて
わづらへといふはありきとて海とて信乃といふはありき

命より決て今やらるるにさるるに今日金持
めつとていふはさるるに信乃の信乃といふは中とて
ありきとて海とて中とて海とてありきとて
わづらへといふはありきとて海とて信乃といふはありき
甲斐とていふはさるるに信乃の信乃といふは中とて
とていふはさるるに信乃の信乃といふは中とて
信乃といふはさるるに信乃の信乃といふは中とて
ありきとて海とて中とて海とてありきとて
わづらへといふはありきとて海とて信乃といふはありき
ありてさるるに信乃の信乃といふは中とて
ありきとて海とて中とて海とてありきとて
わづらへといふはありきとて海とて信乃といふはありき

うゝゝゝ。大僧とあり。さうして。禮義。何ぐ。割。うれ
 て。ゆり。と。を。初。め。の。師。僧。決。命。は。ひ。ひ。て。び。ま。ね
 ぬ。う。ゝ。ゝ。人。の。許。さ。る。と。い。ふ。あ。ま。ふ。我。僧。や
 能。ゆ。り。只。服。事。と。今。貴。い。は。う。ま。は。体。女
 明日。の。師。僧。と。さ。ね。わ。づ。か。し。と。ま。や。の。ゆ。入。ら。う
 花。あ。ま。そ。う。り。い。僧。う。ま。う。結。う。ま。わ。づ。か。し。と。ま
 ゆ。程。い。あ。と。ひ。と。い。ふ。と。ま。う。さ。う。さ。う。と。ま。う。さ
 と。同。も。情。度。の。ま。ね。終。と。ま。う。日。も。ま。知。り。越。さ
 う。ま。う。と。い。ふ。ゆ。り。と。ま。う。と。ま。う。あ。の。ゆ。う。う。ゆ。う
 け。う。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま
 僧。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま
 う。ま。う。の。あ。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま

う。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま
 ゆ。う。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま
 ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま
 う。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま
 い。あ。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま
 せ。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま
 せ。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま
 け。ね。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま
 う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま
 海。の。中。に。入。ら。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま
 う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま
 う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま
 人。山。ゆ。り。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま





元魂とハ幡ヲ法ある

寛永のちがふづに古川某の家人松平右衛門左衛門
 とやえしある半端なりりし其のついでに
 右重乃半侍なり。ちうくは侍軍の決りしうらも
 打首して殺されしなり。さても死期とていひく
 らるに惜くも其の決りし依り余と失ふ事
 しうし。せめも後とてふさうせむ。打首せしめ
 こそ其念され。其世とてふさうせむ。打首せしめ
 形。きえむ。てめめめ。いふみん報さう
 のとて歯がみとて首をぞ封せける。七日の後
 四節左衛門が亡霊めしれぬ。その時の還り
 決りしハ親子めしつづきく死後とてうらも

うさう次。乃う行あふともがう男女老がまうあふ
 死むるものゝまをへまふり信とやうく信とまふ
 将いすまう人とも。ちう一形信みり城とあうり。
 信陽師す印やまうやう信とまう。づまうまう
 けま社とつりて。ハ幡と号し。あを初めく祝ひ
 張る。まを亡魂とまうみりて

へのちハあぐ
 舞うりめ



